



◎幹事會開催

八月二日正午より午後三時まで土木局長室に於て幹事會開催、武井、飯沼、大村、田中、牧野、佐藤、三浦、都築、小島の各幹事出席し、左記事項を協議せり。

- 一 道路大會開催の件
- 一 道路職員及び修路夫必携編纂並に編纂委員委囑の件

◎道路大會開催準備協議會

今秋開催豫定の道路大會開催準備協議會は其の第一回を八月十五日大阪府廳内に開いた、本會幹事田中事務官、同

小島效、村山京都、吉岡兵庫、櫻井滋賀、平川和歌山各土木部課長、加藤奈良縣技師、大阪府より川崎總務、與田道路、和田工營各課長、河野道路、藤井土木、各主事、牧野府主事、大阪市より島土木部長、内山工營課長の諸氏出席、開催要項各號につき協議の結果本會並に開催地委員各別に八月十八日協議會を開いて各細案を作成八月廿一日更に審議を重ねることにして散會した、斯くて本會、府市委員共八月十八日の協議による各細案を得て豫定通り八月二十一日第二回協議會を同じく大阪府廳内に開いた本會より田中事務官、小島幹事、囑託原田内務屬、京都府村山部長、丹羽道路主事、藤井京都市庶務課長、櫻井滋賀縣土木課長、赤木道路主事、兵庫縣由良庶務課長、山本道路課長、佐野屬、奈良上田土木課長加藤技師、和歌山川原道路主事、大阪府川崎總務、與田道路、水田工營各課長、河野道路、藤井土木、田口道路各主事、竹野屬、阪元、三好、松井、久松各書記出席、本會並に大阪府市作成の各細案につき協議を盡し別項廣告掲載の開催要項を得るに至つた右協議會は兩日共炎暑

酷烈であつたが參會各位の熱意と勵精とによつて準備事項の圓滑に進捗するを得た次第である。

◎土木會議議員並幹事決定

土木國策を議する土木會議議員並に幹事は土木會議官制發布と同時に八月十二日附官報を左記の諸氏が任命された。

陸軍次官	大藏省主計局長	大藏次官	社會局長官	內務技監	內務省土木局長	內務省地方局長	內務參與官	內務次官	內務政務次官	法制局長官	內閣書記官長
柳川	藤井	黒田	丹羽	中川	唐澤	安井	勝田	潮憲	齋藤	黒崎	堀切
助信	眞雄	英七	吉造	俊樹	英二	永吉	之輔	隆夫	定三	善次郎	

同	同	同	同	同	同	衆議院議員	貴族院議員男爵	同	貴族院議員子爵	貴族院議員	貴族院議員侯爵	同	貴族院議員	神奈川縣知事	東京府知事	鐵道次官	逓信次官	商工次官	農林次官	海軍次官
三宅	福井	青木	金光	小山	匹田	池田	大森	曾我	東園	有吉	細川	塚本	水野	横山	香坂	久保	大橋	吉野	石黒	藤田
磐	甚	精	庸	谷	銳	秀	佳	祐	基	忠	護	清	太	助	昌	敬	八	信	忠	徳
磐	三	一	夫	藏	吉	雄	一	邦	光	一	立	治	郎	成	康	一	郎	次	篤	徳

土木會議議員被仰付

正三位勳二等	同	原田貞介
資源局事務官	中山秀三郎	同
帝室林野局長官	松井春生	同
内務省警保局長	三矢宮松	同
内務省衛生局長	松本學	同
大藏省主稅局長	大島辰次郎	同
陸軍少將	中山乙三	同
海軍少將	小野彌一	同
農林省農務局長	長瀬貞一	同
農林省山林局長	村上龍太郎	同
農林省水產局長	戸田保忠	同
逓信省電氣局長	清水順治	同
逓信省管船局長	淺野平二	同
鐵道省運輸局長	日淺	同
鐵道省工務局長	黑河内四郎	同
從七位勳六等	三橋信三	同
從七位勳六等	太田丙子郎	同
從七位勳六等	渡邊水太郎	同
從七位勳六等	加藤直法	同

土木會議臨時議員被仰付

内務書記官	松村光麿
同	雪澤千代治
同	武井群嗣
内務技師	前川貫一
同	福田次吉
土木會議幹事被仰付	

◎圖書編纂協議會開催

八月二日正午より丸ノ内日本俱樂部に圖書編纂協議會を開催、武井、牧野、佐藤、三浦、岩澤、藤井、山田、西川、高田、鈴木、長久保、本多、櫻井、小栗、中島、田邊、伊藤、谷口、江口等の諸君出席し、道路職員並修路夫必携の編纂に關し協議し、道路事務に關する第一部の部長に武井道路課長を推し、道路技術に關する第二部部长に牧野技師を推し午後一時より別室に於て各部分擔事項を協議し、下記の内容にて道路職員必携を編纂することゝして午後三時散會せり。

道路職員必携内容

第一編 總論

第一章道路經濟、第二章道路統計、第三章交通調査、第四章交通車輛

第二編 道路ノ設計

第一章路線ノ選定、第二章縱斷勾配、第三章線形、第一節曲線半徑、第二節視距、第三節緩和切線、第四節特殊曲線、第四章道路ノ幅員、第一節各種道路ノ幅員、第二節屈曲部ニ於ケル幅員ノ擴大及街角剪除、第五章橫斷勾配、第一節各種路面ノ橫斷勾配、第二節屈曲部ニ於ケル片勾配、

第三編 土工

第四編 道路ノ排水施設

路床及路面ノ一般排水施設（側溝、街渠、雨水枿、人孔等ヲ含ム）

第五編 舗裝ノ構造及施工

第一章路床（地質ヲ含ム）第二章舗裝ノ種類、得失、選

定、第三章砂利道（水締砂利道ヲ含ム）第四章水締マカダム道（テルフォードマカダムヲ含ム）第五章シート、アスファルト、第六章アスファルト、コンクリート、第七章アスファルト、ブロック、第八章其他アスファルト關係、第九章アスファルト、マカダム。ター、マカダム、第一節アスファルト、マカダム、第二節、ター、マカダム、第十章セメント、コンクリート舗裝道、第一節セメント、コンクリート道、第二節セメント、マカダム、第十一章乳劑舗裝、第十二章煉瓦。鋪石及鋪木、鋪裝道、第一節煉瓦舗裝、第二節鋪石舗裝、第三節鋪木舗裝、第十三章特殊舗裝、第十四章軌道敷内ノ舗裝、第一節軌道ト舗裝トノ關係、第二節軌道敷舗裝ノ實例、第三節軌道ノ排水設備

第六編 工物

第一章溝橋及橋梁、第一節溝橋、第二節橋梁、第二章隧道、第三章擁壁、第一節土壓、第二節コンクリート擁壁、第三節鐵筋コンクリート擁壁、第四節石垣、第四章駒止其他、第一節駒止、第二節其他（標識類方向板、警戒標）第

五章踏切構造、第一節踏切、第二節踏切ノ等級、第三節踏切ノ構造、第四節踏切ノ防護方法、第五節踏切ノ警標、第六節踏切ノ改善方針、第六章道路占用工作物（原案、地下埋設物）第一節地上永久占用工作物、第二節地上臨時占用工作物、第三節地下占用工作物、第四節標準配置、第五節占用料、第六節埋設工事、第七節共同管道

第七編 都市計畫街路（街路樹及並木ヲ含ム）

第八編 交通整理及街路照明ノ施設

第一章交通整理方式、第二章路面上施設、第三章街路照明

第九編 道路材料

第一章總論、第二章セメント、第三章コンクリート、第四章瀝青質材料、第五章鋪裝用煉瓦、第六章石材、第七章碎石、第八章鑛滓、第九章砂利、第十章砂、第十一章石粉

第十編 維持及修繕

第一章砂利道（水締砂利道）第二章水締碎石道、第三章瀝青乳劑鋪裝、第四章高級鋪裝

第十一編 道路用器具機械

第十二編 仕方書及材料規格

第一章道路材料規格、第一節石材及煉瓦、第二節セメント、第三節瀝青材、第四節鋼材、第二章鋪裝仕方書、第一節水締砂利道及水締マカダム道、第二節瀝青乳劑鋪裝、第三節瀝青コンクリート鋪裝、第四節シート、アスファルト鋪裝、第五節セメント、コンクリート鋪裝、第六節アスファルト、ブロック鋪裝、第七節鋪石鋪裝、第八節煉瓦鋪裝、第三章橋梁示方書、第一節道路構造細則、第二節鐵筋コンクリート及鐵筋コンクリート橋、第三節鋼橋設計及工作

第十三編 法 規

附 錄

測量ニ關スル諸表、數學及力學公式及表、度量衡比較表、道路用語

◎圖書編纂協議會第二部々會開催

圖書編纂協議會第二部（技術部）部會は八月二十八日正午より午後五時まで内務省大會議室に開催し、牧野、田中

佐藤、三浦、岩澤、谷、永田、大石、堀、本間、山本、長久保、奈良原、鈴木、小澤、關根、高田、村松等の諸君出席し、左記事項を協議せり。

- 一 必携ノ大サ
- 一 豫定頁數
- 一 一頁ノ字數
- 一 内容及執筆者
- 一 原稿締切
- 一 出版豫定

◎國際道路問題調査委員會

○第五分科委員會

第五分科委員會第二回委員會は七月二十九日（水曜日）

正午より午後五時まで帝國鐵道協會に開催、委員清水君、堀君、山田君、大石君、藤田君、高田君、伊藤君、小澤君、吉田君出席し、堀委員より「帝都に於ける鋪裝年次普及率」小澤委員より「運輸交通の經濟的見地より見たる車輛と車道路面との相互的關係」高田委員より「交通による道路上の噪音」に就て詳細なる調査報告あり、次いで伊藤委員より噪

音並に損傷防止に關する規定の説明ありたり。

第五分科委員會第四回委員會は八月五日（土曜日）正午より丸ノ内帝國鐵道協會に於て開催、委員藤井君、佐藤君、小澤君、志賀君等出席し、京都、大阪兩市電氣局の調査報告に就て審議し、尙東京市電氣局の調査報告と統一整理し、交通車輛の輪帶磨耗と道路損傷との關係等を審議せり。

◎寄贈圖書

「道路提要」本書は道路技術者の爲めに技術資料として内外工業新聞社出版部に於て編纂したる道路工事に關する七百三十頁の冊子である。其編纂は鋪裝道路に重點を置きて設計、築造、維持に關する實際的資料を収録し且道路用語、度量衡比較表道路管理並統計をも登載して居る、理論學說に至りては見るべきものは乏しいが實際的工法の梗概は廣く蒐集してある中川内務技監、牧野内務技師が好參考書として推奨せらるるを見ても實際的な參考書であると思はる。